

事務事業 No./名称	<input checked="" type="checkbox"/> サービス部門 市民-22 水産業振興運営事業 <input type="checkbox"/> 支援部門								
主管課	産業振興課	関連課							
分野名	産業振興								
目標 (目標値)	市民生活に密着した形での沿岸漁業の振興 つくり育てる漁業、資源管理型漁業等による漁業経営の安定及び後継者の育成								
人口等のデータ	データ区分	25年度	24年度	23年度	備考 ・各年4月1日 (住民基本台帳)				
	人口	177,895人	177,224人	177,204人					
	世帯数	80,295世帯	79,669世帯	79,217世帯					
	事業の対象者数								
運営資源状況	決算値(千円)	2,320	3,053	2,452					
	(国・県)								
	(負担金等)								
	(一般財源)	2,320	3,053	2,452					
	人員配置数	0.1人	0.2人	0.5人					
	人件費(千円)	785	1,637	4,462					
	協働のパートナー								
事務事業 運営経費	総事業費(千円)	3,105	4,690	6,914					
	市民1人当りの経費(円)	17	26	39					
	対象者1人当りの経費(円)								
ベンチマーク(県内 外自治体や民間団体 との比較値)	団体名→	鎌倉漁協	腰越漁協	小坪漁協					
	年間水揚量H24	181t	130t	113t					
	年間水揚量H23	172t	463t	90t					
	年間水揚量H22	165t	133t	157t					
指標	評価	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	最終年度(27年度)		
直売事業の開催回数	△	目標値	30回	30回	30回	30回	30回		
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		実績値	28回	30回	26回	25回			

中事業に含まれる小事業の方向性(⇒個別事業の概要は裏面)

(千円)

H25小事業名	H25決算値	H26小事業名	H26予算額	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止			
水産業振興運営事業	2,320	水産業振興運営事業	2,656	今後の方向性	C	理由・手法	補助事業の見直しを図るとともに、水産業振興協議会で協議した結果を施策に反映させる。
				今後の方向性		理由・手法	
				今後の方向性		理由・手法	
				今後の方向性		理由・手法	
				今後の方向性		理由・手法	

中事業の評価(事務事業の課題、取組状況、今後の方向性)

H25年度の課題	市内で市内の漁獲物の流通を図って行くためには、流通事業者、消費者となる市民を含め協議できる場を設定していく必要がある。										
課題解決のための取組	鎌倉市水産業振興協議会を3回開催し、地場の海産物の流通について、漁業者、小売業者等で協議した。また、担い手育成の補助事業について漁業協同組合と検討した。					取組の結果	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 未解決				
未解決の課題	地場の海産物が市民の食卓に届く流通システムや来訪者を含めた海産物のブランド化による地産地消。										
中事業の評価	適切=○要改善=△(2面「評価の視点」を参照)			①効率性	○	②妥当性	○	③有効性	△	④公平性	○
今後の方向性 (課題解決に向けた取組 ・H26予算への反映)	漁業者の経営安定化及び後継者の育成・支援に努めるとともに、漁業への市民理解を深めるため、地場の海産物を安定的に供給するための施策の実施に向けた検討をする。また、補助事業の見直しを図る。							C	※ <input type="checkbox"/> 事業完了		

評価者名

産業振興課長

茶木 久美子

(2面) 小事業・個別事業の評価

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

(単位:千円)

小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
水産業振興 運営事業	漁業経営の安定化を図るため、漁業協同組合が行う事業に対して補助金の交付を行う。				○	△	△	○	
	主な 個別 事業	ザイムコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
		363	鎌倉市水産業振興協議会委員報償費	152	88	○	○	○	○
		363	消耗品費	88	85	○	○	○	○
		363	神奈川県水産振興促進協会負担金	568	568	○	○	○	○
		363	神奈川県水産救済会等負担金	285	285	○	○	○	○
		363	漁業施設等災害見舞金	500	0	○	○	○	○
363	鎌倉漁業協同組合事業費補助金	794	794	○	△	△	○		
363	腰越漁業協同組合事業費補助金	500	500	○	△	△	○		
※ <input type="checkbox"/>	事業完了								
小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
主な 個別 事業	ザイムコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
※ <input type="checkbox"/>	事業完了								
小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
主な 個別 事業	ザイムコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
※ <input type="checkbox"/>	事業完了								
小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
主な 個別 事業	ザイムコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
※ <input type="checkbox"/>	事業完了								